



▲バケツリレーで火を消すゲームをする園児たち

### 火災予防の大切さを学ぶ 第16回幼年消防クラブのつどい

10月23日、ひかり幼稚園で「第16回幼年消防クラブのつどい」が行われ、園児たちが火災予防の大切さを学びました。この日は、年長組の園児55人が参加し、消火活動をイメージしたバケツリレーや放水作業を体験。参加した園児は「火遊びは絶対にしません!」と話してくれました。



▲親子であそびうたを楽しむ参加者たち

### 親子で楽しくあそびうた あきらちゃん・あんこちゃんコンサート

11月14日、ふれあいプラザで「あきらちゃん・あんこちゃんコンサート」を行いました。これは、親子のコミュニケーションを深めてもらおうと地域子育て支援センターとしろいし母親クラブが共同で企画。本市のすまいるキッズアンバサダーのあきらちゃんたちと「白石うーめん体操」などを踊り、親子で楽しく遊びました。



③



1\_会場を彩った見事な作品の数々 2\_大盛況だった白石市民吹奏楽団のステージイベント 3\_白熱の米俵相撲! 熱戦が繰り広げられました

### だれもが楽しめる秋の一大イベント!

#### 第44回白石市農業祭・白石市福祉まつり2024

11月9日、10日の両日、ホワイトキューブで農業祭と福祉まつりが同時開催されました。農業祭では、新米・新鮮野菜・果物などの地場産品やA5ランク仙台牛の特別販売、大人気の米俵相撲が行われ、参加者には白石産ササニシキを贈呈。さらに楽しいステージイベントのほか、子どもたちに人気の搾乳体験、ころ柿づく

り体験、姉妹都市の登別市・海老名市物産展などが行われました。

また、福祉まつりでは、車いす体験、市内のボランティア団体・福祉施設・小中学生の作品展示、手芸作品・手作りお菓子・鉢花の販売などが行われ、会場は多くの人たちの笑顔であふれていました。

## 市民文芸

### 歌壇 岩崎 聰之介 選

彫られたる夫の法名代代碑に撫づればつめたし  
うるうると居つ 菊地せつ子  
終活や セピアの写真に手が止まる小学一年の  
私と出合い 佐藤 啓子  
孫来るとメールあればやサトイモ煮て待てど未  
だかな時計気にすも 阿部かつみ  
蜘蛛の網を巧みに避けて足長蜂朝から廂に巢を  
つくりゆく 寺崎 悦子  
雲間より浅れくる光すすき野に照りて穂波の華  
やぎにける 佐藤喜恵子  
炎天に枯れ葉目立つも大伸ばしけなげに咲ける  
コスモスの花 末吉アツ子  
プロ野球ひいきチームの優勝ぞ我も四年ぶり祝  
盃を上ぐ 佐藤ひろ子  
健康なる証が集まる女子の会秋の食欲だれもか  
くさぬ 遠藤 舞  
軽トラに新米積んで友の来ぬ豊作だよと笑みこ  
ぼしつ 星 明  
転んだら子どものように起き上がる泣き乍らで  
も照れ乍らでも 我妻 孝則

### 柳 四 竈 英 夫 選

金木犀香る路地裏深呼吸  
乱れ咲くコスモスに足絡まれて  
山風のわたる吊橋晩夏雲  
健康を夫婦で祝う栗おこわ  
新しき釜で炊き立て今年米  
どこからか気高く匂う金木犀  
評一句目、炊き立ての栗ご飯をいただいた(おいしく  
できたので食べてほしい)という心がありがたく、う  
れしさが二倍三倍に。  
二句目、城の公園のベンチに座り、眼下の城下町を  
眺め片倉小十郎などに思い巡らせる。傍らに紅白の萩  
が咲き乱れ雅な気持ちに。  
三句目、みどり児の真っ白な産着を干していると青  
空に映えて美しく輝いて見える。  
新蕎麦やしよし良し出汁良し腹で食う  
カラオケに誘われ昭和の歌ひとつ  
米不足減反の田は山となり  
ご飯好き多いと知った米不足  
新米の並ぶスーパー一等席  
早々に新米届き味しめる  
米不足新米出回り安心す  
夏の陣轟く城址秋祭り  
熱燗の今宵の肴虫の声  
年重ね小さな夢見生きる糧  
我妻 孝則  
大庭美智子  
菊地せつ子  
佐藤 啓子  
末吉アツ子  
遠藤 舞  
志村かつい  
星 明  
遠藤 松雄  
菊川いつ子

### 俳壇 山家 弘子 選

評一句目、此の夏、旦那さまを亡くされたと聞く。眼  
潤ますお姿が浮かぶ。四句切れからの一字あけ、効果  
的に結句を導いている。  
二句目、こみ上げるは捨てられぬ遥かな日だ。や  
は作業中のそのときどきなあ程の意。  
三句目、あればやのやは強調、語調を整えてもいよう。  
四句目、マ音の重なりがこい。  
頂きしまだ湯気のあり栗ご飯  
城下町望むベンチや萩の花  
秋晴や真白き産着千し眩し  
芋菓の茎のみ残る畔の道  
大庭美智子  
佐藤 隆志  
平間 幸恵  
山田 もも

評一句目、新蕎麦の香りを楽しむよりも、おなかいっ  
ぱい食べて満たされた気持ち表れている。でも「腹  
も身のうち」こ用心。  
二句目、国民的娯楽のカラオケ。年代ごとにジャン  
ルもさまざま。新世代についていけない年代が口ずさ  
むのは昭和のナツメコ。  
三句目、米余りの時代から、今年は一転米不足。減  
反の田は耕作放棄地。セイダカアワダチソウの群生に  
立ち尽くす。

Shiroishi Market

## フレッシュマーケット

### ～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。  
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進!～



市内の農産物  
直売所情報▶

### 寒い季節を彩る「干し柿」



▲オレンジ色の鮮やかな「柿のれん」

本市では古くから柿が栽培され、ころ柿などの干し柿づくりが行われてきました。干し柿づくりでは、皮をむいたあと軸枝に縄を結んでつるし、乾燥して渋みを抜きます。干し柿が並ぶオレンジ色の鮮やかな「柿のれん」は絶景です。また、柿はビタミンA・C、カロテン、カリウムなどが豊富に含まれており、「柿が赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど栄養価の高い果物です。

本市産の干し柿は、馬牛沼産直センターやおもしろい市場などで12月下旬からの販売を予定しています。ぜひご賞味ください。